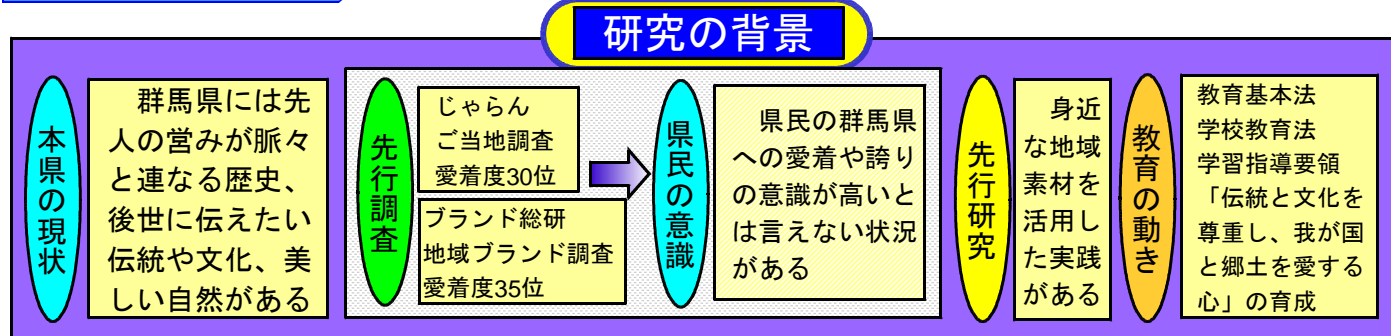


ふるさとへの愛情と誇りに関する調査研究

— 東毛地域の中学校教師の指導と生徒の実態に視点を当てて —

長期研修員 小松崎 広幸

研究構想図



ふるさとへの愛情と誇りに関する調査研究

研究の目的

「ふるさとへの愛情と誇り」に関して群馬県東毛地域の中学校担任教師の指導の実態と第3学年の生徒の意識の実態について調査し把握する。そして、それらを分析することで、教師の地域素材を活用した指導と生徒の郷土に関する意識との関連を明らかにし、「ふるさとへの愛情と誇りをはぐくむ取組」に向けた提言を行う。

仮説

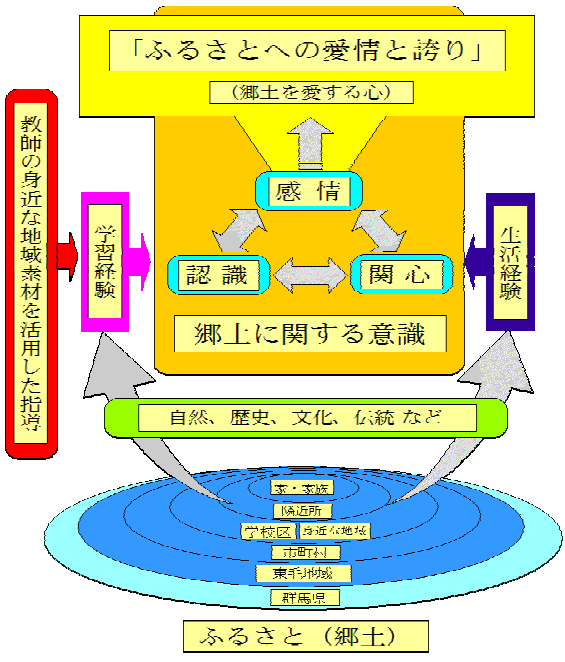
「ふるさとへの愛情と誇り」をはぐくむために、次のことが検証できれば、教師の指導と生徒の郷土に関する意識との関連が明らかになるであろう。

- 身近な地域素材を活用した指導をしている教師は地域素材への「認識」がある。
- 教師が身近な地域素材を活用した指導を行えば、生徒は郷土に関する「認識」をもつ。
- 生徒は自分の郷土に関する「認識」「関心」があれば「感情」をもつ。

「ふるさとへの愛情と誇り」に関する質問紙調査

- 調査対象** 群馬県東毛地域 中3生徒 担任教師
- 調査内容**
- ・生徒の郷土に関する意識の実態
 - ・教師の指導の実態
 - ・生徒と教師の地域素材の「認識」

分析 考察



「ふるさとへの愛情と誇り」にかかわる語句の関連図

「ふるさとへの愛情と誇り」をはぐくむ取組に向けた **提言**

調査の結果から

教師の指導と生徒の意識の実態

生徒回答総数
714

教師回答総数
227

教師の指導の実態(東毛地域)

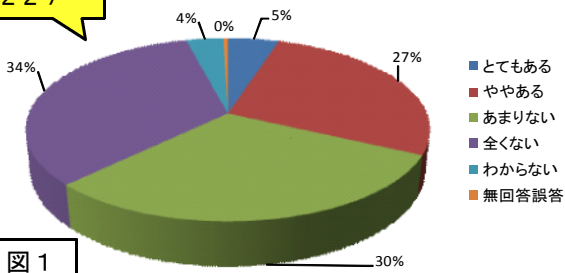


図1

生徒の郷土(東毛地域)に関する意識

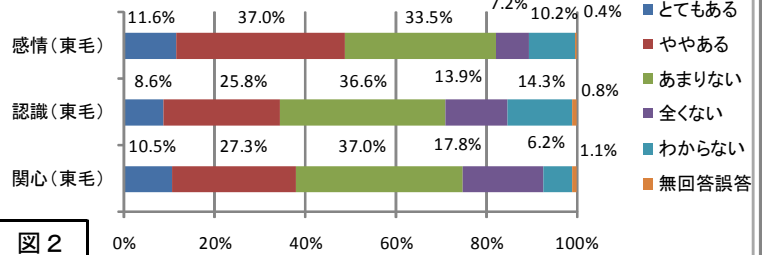


図2

地域素材を活用した指導をしている教師は約3割

生徒の郷土に関する意識の低さ

研究の結果1

教師の地域素材の「認識」と地域素材を活用した指導について

教師の地域素材の「認識」の割合 (カテゴリ別)

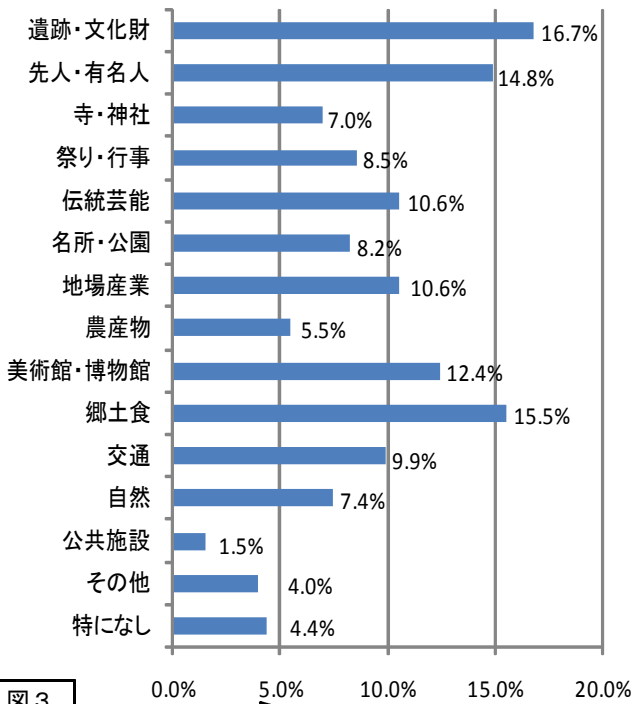


図3

カテゴリ	地域素材の主な調査項目
遺跡・文化財	岩宿遺跡・海老瀬貝塚、天神山古墳、金山城・館林城、桐生明治館、鋸屋根工場・彦部屋敷 ながめ余興場 など
先人・有名人	新田義貞、岡上景能、大谷休泊、田中正造、田山花袋、向井千秋、星野富弘、相沢忠洋、中島知久平 など
寺・神社	世良田東照宮、分福茶釜の茂林寺、縁切寺満徳寺、大光院、雷電神社、白滝神社、貴船神社 など
祭り・行事	大間々祇園祭、尾島ねぶた祭、桐生八木節祭、川せがき、生品神社鎬矢祭、えびす講、龍舞賀茂神社燈 など
伝統芸能	八木節、ささら・獅子舞、太々神楽
名所・公園	桐生が岡公園、ぐんま子どもの国、つつじが岡公園、小平の里公園、群馬の水郷公園 など
地場産業	桐生織、中野緋(かすり)、自動車工業、電気機械工業、醸造業(醤油、酒) など
農産物	米・麦、なし・ぶどう、きゅうり・なす、大根・漬け物、スイカ、ヤマトイモ、トマト、シクラメン など
美術館・博物館	県立館林美術館、富弘美術館、新田荘歴史資料館、コバント館、ぐんま昆虫の森、旧花輪小学校記念館
郷土食	川魚料理、そば・うどん、焼そば、焼まんじゅう、ソースカツ丼、麦落雁(らくがん)
交通	渡良瀬渓谷鉄道、東武鉄道、赤岩渡船、北関東道
自然	多々良沼などの低湿湖沼、利根川や渡良瀬川の自然、高津戸峡、渡良瀬遊水池、水塚・揚舟 など
公共施設	シンボルタワー、室内プール
その他	商店街や商業施設、国際化、スポーツ(野球、ラグビー)

表1 カテゴリ化した主な地域素材

どのカテゴリにおいても地域素材の「認識」をもつ教師は20%未満であり、教師の地域素材の「認識」は低い傾向がある。



地域素材活用	指導	「認識」数(平均値)
市町村	あり	12.0
	なし	10.1
東毛地域	あり	13.2
	なし	10.0
両方	あり	13.0
	なし	9.7

表2 指導の有無と教師の「認識」数(平均値)

教師の指導/認識	認識(15以上)	認識(14~10)	認識(9~3)	認識(0~2)
地域素材活用あり	21▲	9	29	7
地域素材活用なし	20▽	24	47	25

(▲有意に多い、▽有意に少ない、 $p<.05$)//Analyzed by JavaScript-STAR//

表3 教師の「認識」数ごとの教師の地域素材を活用した指導の有無の人数

身近な地域素材を活用した「指導をしている教師」の「認識」数と「指導をしていない教師」の「認識」数の平均値の差や、「認識」数(15以上)での教師の地域素材を活用した指導の有無の人数の有意差が明らかである。

研究の結果 2

教師の指導と生徒の郷土に関する「認識」について

生徒の地域素材の「認識」の割合
(カテゴリ別)

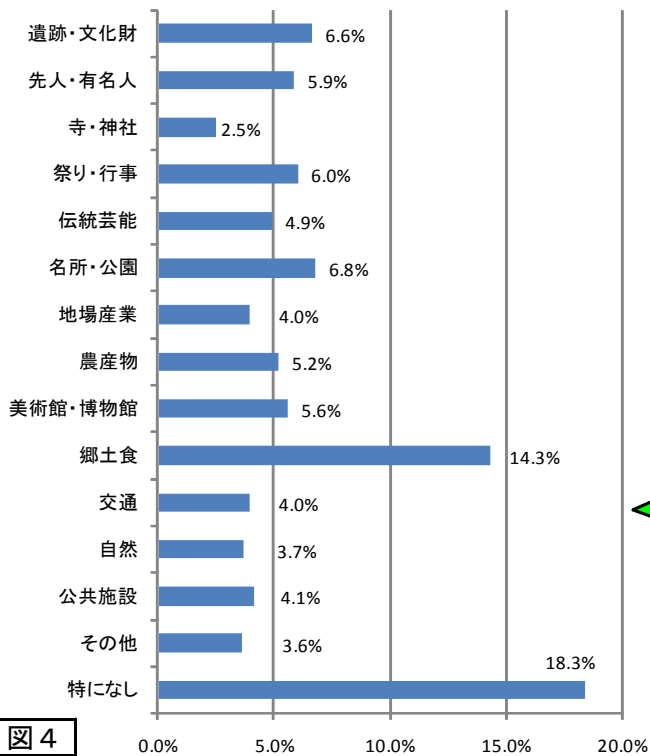


図 4

担任教師\中3生徒	認識あり
中3担任教師の指導あり	0.529
全担任教師の指導あり	0.435
担任教師\中3生徒	認識なし
中3担任教師の指導なし	0.992
全担任教師の指導なし	0.347

表 4 地域素材を活用した指導と生徒の認識の相関

中3担任教師の「指導あり」と中3生徒の「認識あり」に0.5以上の相関係数の数値が認められることから、確実な相関があり、「指導なし」と「認識なし」にも0.9以上の相関係数が認められることから強い相関がある。

「郷土食」以外のいずれのカテゴリにおいても、地域素材の「認識」がある生徒は10%未満である。また、「特になし」が18.3%と最も高い数値を示していることから生徒の地域素材の「認識」は低い。



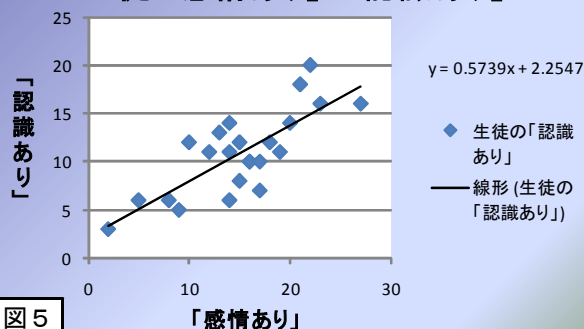
研究の結果 3

生徒の郷土に関する「感情」「認識」「関心」について

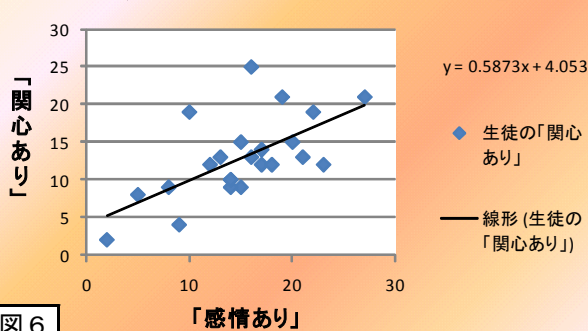
生徒の意識	感情あり	認識あり	関心あり
感情あり		0.999	0.989
認識あり	0.999		0.982
関心あり	0.989	0.982	
生徒の意識	感情なし	認識なし	関心なし
感情なし		0.978	0.986
認識なし	0.978		0.999
関心なし	0.986	0.999	

表 5 生徒の東毛地域に対する意識(感情、認識、関心それぞれの)の相関

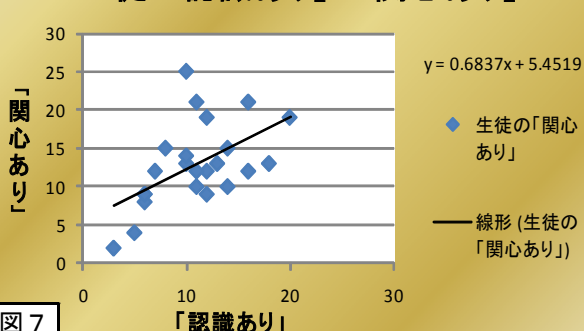
生徒:「感情あり」と「認識あり」



生徒:「感情あり」と「関心あり」



生徒:「認識あり」と「関心あり」



生徒の郷土に関する「感情」「認識」「関心」それぞれの相関係数が0.9以上を示し、いずれも散布図に表すとそれぞれに直線的な関係が見られ、強い相関がある。

研究の考察



1. 教師の地域素材の「認識」と地域素材を活用した指導について

表2、3の分析から

教師の身近な地域素材の「認識」が低い

図3の分析から

「指導をしている教師」は地域素材の「認識」が高く、「していない教師」は「認識」が低い

身近な地域素材を活用した「指導をしている教師」は地域素材の「認識」があると言える

2. 教師の指導と生徒の郷土に関する「認識」について

表4の分析から

生徒の身近な地域素材の「認識」が低い

図4の分析から

教師の地域素材を活用した指導と生徒の郷土に関する「認識」との間に相関が見られた

教師が身近な地域素材を活用した指導を行えば、生徒は郷土に関する「認識」をもつと言える



3. 生徒の郷土に関する「感情」「認識」「関心」について

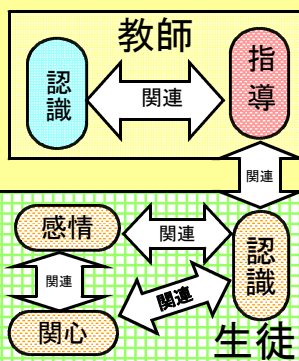
表5、図5、6、7の分析から

生徒の郷土に関する「感情」「認識」「関心」それぞれの相関分析により、強い相関が認められた

生徒は自分の郷土に関する「認識」「関心」があれば「感情」をもつと言える

研究の成果と課題

成果



以上のように、教師の指導と生徒の郷土に関する意識との関連が明らかとなった

提言

- ①教師が勤務地域の身近な地域素材についての「認識」を高めましょう
- ②生徒の「関心」のある身近な地域素材を活用し、生徒の郷土に関する「認識」を高めましょう
- ③各教科領域で身近な地域素材を活用し、生徒の「認識」や「関心」を高める指導を行い、郷土に関する「感情」を育てましょう

課題

- 生徒の郷土に関する意識が低い
- 教師による指導が少ない現状がある
- 提言に基づく取組の実践が必要である
- 小学校における調査は未実施である

作成資料

地域素材の認識を高めるために

- 「東毛ふるさと お宝マップ」
- ①A4表裏
 - ②印刷し使える
 - ③小学生も理解できる内容
 - ④興味・関心を喚起する内容
 - ⑤教科領域で地域素材の活用の手がかりとなる
 - ⑥画像（写真）入り

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係：幼児教育センター 0270-26-9221（直通）

